

(揭示文書)

「人口減少社会における医療・介護・福祉政策グランドデザインに関する研究」へのご協力のお願い

1. 「人口減少社会における医療・介護・福祉政策グランドデザインに関する研究」の背景・目的・意義

これまで金沢大学は羽咋市役所と共同で、羽咋市の皆様の〈ご家庭味噌汁調査〉や〈歯科衛生と生活習慣調査〉など多くの調査をさせていただき、その結果を市民の皆様へお返ししてきました。

現在、我が国は少子高齢社会、多死社会、災害多発社会といわれ、課題が多く指摘されている中で、羽咋市においても、「健康づくり」「認知症予防/介護予防」「災害に強いまちづくり」「最後まで自宅で」の4つの柱が重要とされています。

今回の調査はそれらを実現するために、「どのような地域の互助力や絆意識を作り出すのか」を考える必要があり、「これからの10年、安心と健やかさのまちづくりのために」と題した、全住民対象の基礎調査を計画致しました。

具体的には、①「健康状態や健康行動に関すること」「認知症予防/介護予防に関すること」「住んでいる地区への考え」「地区および家族親族との交流やサポート」「終末期に対する考え」等の項目についての実態や考え、知識の実情を明らかにする。②実態と関連要因の分析から、災害脆弱地区や認知症予防/介護予防重点地区を明らかにする、③データ分析から、安心と健やかさのまちづくり計画を立案する、を行います。

2. 調査の対象者と方法

対象:羽咋市の40歳以上の全住民(高齢者の上限はつけない)、約1.5万人です。

方法:自記式調査用紙を用いての統計的分析方法を行います。全住民への郵送は羽咋市役所が行い、回収は金沢大学宛の郵送法で回収します。

この調査票は、羽咋市が掌握している「KDBデータベース(国保データベース)」「後期高齢者医療(介護保険データ)」と連結して分析を行います。その際、連結についての承諾を調査対象者(住民)自身に、「承諾する」と「承諾しない」でチェックしてもらい、「承諾する」の回答のみを連結して分析します。「承諾しない」の回答は、そのまま調査票のみの結果で分析します。調査の分析は金沢大学が行います。

3. 調査の審査と実施期間

この調査は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この調査が許可されている期間は、2024年3月31日までです。研究計画の変更や、さらに研究を継続する際は、改めて倫理審査委員会の審査を受けます。

4. 本調査に協力することによる利益と不利益

この調査で得られる成果は、羽咋市のこれからの10年のまちづくり政策の基礎データとして活かされます。データ分析より、災害脆弱地区や認知症予防/介護予防重点地区が特定されますから、そこから羽咋市の、より具体的な、健康づくり、認知症予防/介護予防、防災計画が立案、実施されます。

調査対象者の個人情報保護に関しては、羽咋市と金沢大学で「個人情報保護に関する連携協定」を締結して実施します。大学で分析されるデータは、完全に匿名化されています。また羽咋市が持つ「KDBデータベース(国保データベース)」「後期高齢者医療(介護保険データ)」との連結は、あらかじめデジタル化・暗号化して、その上で連結しますので、個人情報保護はなされると考えます。アンケート調査の所要時間は全体で約10～20分程度です。

5. 調査への同意とその撤回について

この調査に協力するかどうかは調査対象者の自由意思で決めることができます。郵便での返送をもって同意がされたものと判断致します。また、いったん参加に同意された場合でも、いつでも同意を取り消すことができます。同意を取り消すことで、あなたが不利益を受けることは一切ありません。ただし、調査結果が分析のために誰のものかわからないように加工されたり、研究成果が発表された後では、撤回が困難な場合があります。

6. 情報の取扱

データは一括して、寒河江雅彦研究室（金沢大学経済学経営学系、教授室）の鍵のかかるキャビネットで保管します。

なお、この調査における個人情報の管理者は、佐無田 光（金沢大学人間社会研究域経済学経営学系 教授）です。

7. 調査記録やデータ、試料の保存と破棄

この調査において得られたあなたの調査票データは6で説明した方法で保管されます。そして、調査データは研究終了後10年間保存した後に廃棄します。

8. 調査成果の発表とデータの共有

調査対象者の協力によって得られた(匿名化された)研究の成果は、学会発表や学術雑誌及

びデータベースなどで 公に発表されることがあります。

9. 本調査の費用

本調査は、下記の研究費及びケアエリア研究会にて本研究のために確保する研究費等を使用して実施します。

- 運営費交付金: 戦略的研究経費「共創型研究支援プロジェクト」スタートアップ
- 共同研究費(相手方機関名: 羽咋市)
 - ・羽咋市のまち・ひと・しごと創成戦略に関する研究
 - ・国保データベース・後期高齢者データベースなどを活用した地域の健康まちづくりのための調査研究
 - ・庁内情報を基にした買い物弱者の見える化に関する研究

10. 利益相反について

金沢大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反(利益相反)しているのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して金沢大学では「金沢大学臨床研究利益相反マネジメントポリシー」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。さらに、利益相反マネジメント委員会により本研究の利益相反は適切に管理されていると評価されておりますので、ご参加の皆様は利益相反による不利益が生じることはありません。

11. 個人情報の開示について

本学が保有する個人情報の開示は、金沢大学個人情報開示等取扱規程に基づき行われます。情報公開事務室において手続きは行いますが、まずは本研究の相談窓口にご相談ください。なお、開示にあたっては所定の手数料が発生します。

12. 本調査に関する情報公開

ご希望があれば、個人情報の保護や研究に支障が生じない範囲でこの調査の計画書や研究方法の内容を見ることができます。資料の閲覧を希望される方は、どうぞお申し出ください。

また、この調査に関する情報は、下記のホームページへ掲載しております。

金沢大学地域包括ケアとエリアマネジメント研究会のホームページ

<http://keperia.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

13. 特許権等について

将来画期的な発見がされた場合、そうした発見に至った研究者や研究機関の苦勞に報いるために、特許などの特別な権利が認められることがあります(これを「知的財産権」といいます)。今回の研究では、それらの権利は研究機関側に属し、あなたに属するものではないことをどうぞご理解ください。

この研究で得られたデータや結果から、特許などの知的財産権が生まれる可能性があります、この手続きは試験を実施した機関が行い、かつその権利を所有します(ご参加いただいた皆様に知財権は帰属いたしません)。

また、この研究で得られたデータや結果から生まれた知的財産権を、実用化のために企業が使用することがありますが、その場合の知的財産権の使用料は権利を所有する機関の収入になります(皆様個人には使用料は還元されません)。

14. 調査の実施体制

この調査は以下の体制で実施します。

・金沢大学の研究組織

実施責任者： 経済学経営学系 教授

寒河江 雅彦

研究分担者：

- | | |
|--------------------------|-------|
| ● 経済学経営学系 地域経済学 教授 | 佐無田 光 |
| ● 経済学経営学系 地方財政論 教授 | 武田 公子 |
| ● 経済学経営学系 社会保障論、経済哲学 講師 | 村上 慎司 |
| ● 経済学経営学系 准教授 | 阪口 博政 |
| ● 保健学系 看護科学・家族看護学 准教授 | 柳原 清子 |
| ● 保健学系 看護科学・家族看護学 助教 | 板谷 智也 |
| ● 保健学系 理学療法学 准教授 | 横川 正美 |
| ● 保健学系 臨床実践看護学 助教 | 正源寺美穂 |
| ● 保健学系 細菌学、基礎看護学 教授 | 岡本 成史 |
| ● 附属病院 応用薬理学、医療系薬学 教授 | 崔 吉道 |
| ● 医学系 環境生態医学・公衆衛生学 特任助教 | 辻口博聖 |
| ● 医学系 環境生態医学・公衆衛生学 博士研究員 | 宮城 栄重 |
| ● 医学系 認知症先制医学 特任准教授 | 篠原もえ子 |
| ● 環境デザイン学系 都市計画・交通計画 教授 | 高山 純一 |

- 環境デザイン学系 都市防災計画 准教授 藤生 慎
- 環境デザイン学系 建築計画 准教授 西野 達也
- 先端科学・社会共創推進機構 特任助教 平子 紘平

* 新たに研究分担者あるいは共同研究者が加わる場合がありますが、その際には改めて倫理審査を受けます。

15. 調査を中止する場合について

研究責任者の判断により、調査を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この調査を中止する場合があります。

16. この調査の責任者の氏名、職名、連絡先

この調査への参加を取りやめたい場合、不明なことや心配なことがありましたら、下記の連絡先にいつでもご連絡ください。

【調査責任者】

金沢大学人間社会研究域 経済学経営学系 教授 寒河江雅彦

【調査に関する問い合わせ先:担当部署】

この調査について不明なことや心配なことがありましたら、下記の連絡先に平日日中にご連絡ください。

〒920-0942 金沢市小立野5-11-80

金沢大学医薬保健研究域 保健学系 柳原研究室 電話 076-265-2562(直通)